

未来社会工学開発研究センター

Society5.0を実現するモビリティ概念の拡張と未来社会創造

未来社会工学開発研究センター(通称、F-MIRAI)は、筑波大学とトヨタ自動車(株)によって、当初は「Society 5.0 を実現するモビリティインフラの先端研究拠点」として設立され、現在、「Society5.0を実現するモビリティ概念の拡張と未来社会創造」へと取り組みをさらに進化・発展させています。サイバニクス研究センター長、内閣府のFIRST、ImPACT、SIPプログラムの責任者・ディレクターとしての経験を活かし、当該センターの長として責務を果たします。学際性ある融合研究を強化し、組織的な産学官連携による拠点形成を進めます。2024年度からは「人や社会のための健康空間に資する『人間特性』のデータ集積とモデル化」に取り組み、2026年度はそれら研究を加速するとともに、それらのとりまとめを行います。新たな産学協働のあり方も成果の一つです。ご期待下さい。



山海嘉之 センター長

センターのミッション Society5.0を実現するモビリティ概念の拡張と未来社会創造

